

イベント名	令和4年度 ひきこもりを考える集い 『今見つめる“私が歩んできた道”そしてこれから』
講師	シンポジスト ひきこもりを経験したご本人1名、ご家族1名、支援者1名 コーディネーター 小倉記念病院 緩和ケア・精神科 部長 三木 浩司 氏 北九州市ひきこもり地域支援センター「すてっぴ」 ひきこもり支援コーディネーター 下川 裕司 氏
開催日時	令和4年8月6日（土）13：30 ～ 16：30
開催場所	ウェルとばた 【第一部】3階 中ホール 【第二部】2階 多目的ホール
参加者数	74名（ひきこもりを経験したご本人、ご家族、支援者 など）
内容等	ひきこもりの問題に悩む家族や本人、関心を持つ市民に対し、ひきこもりへの理解を深め、問題の幅広い捉え方や望ましい関わり方について共に考える機会を提供することを目的に第一部はシンポジウム、第二部はグループでの語り合いを開催した。 第一部では、『今見つめる“私が歩んできた道”そしてこれから』をテーマにして、ひきこもりを経験したご本人1名、ご家族1名、支援者1名からそれぞれの体験談を発表していただいた。第二部では、ひきこもりに悩むご本人、ご家族同士での語り合いを行った。
参加者の声	【第一部】 <ul style="list-style-type: none"> • ひきこもりについて様々な立場からの視点の話をうかがう事で、心のもやが少し晴れた様と感じました。（ご本人） • 子どもを信じて、自分だけがかかえこまず、支援者の方につなげていきたいと思いました。（ご家族） • 生き辛さにどう向き合うか考え、人とつながっていくこと、つながりを途絶えさせないことを大事にしていこうと思いました。（支援者） 【第二部】 <ul style="list-style-type: none"> • 色々な話が聞けて良い体験ができました。ありがとうございました。（ご本人） • 一人一人のお話を聞けて 又頑張っていこうと思いました。又つどいに参加したいと思います。（ご家族） • このようなシンポジウム、グループワークは大切な場だと思います。（ご家族）